

競技上の注意(個人戦)

審判長:八百野 真人

<ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 タイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、2023年度登録の日本卓球協会ゼッケンを着用する。
- 4 新型コロナウイルス感染症対策として、本大会は次の事項を推奨する。
 - (1) ベンチのアドバイザーは一回戦から入ることができる。
 - (2) 試合前後の握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
 - (3) チェンジエンドは行う。
 - (4) 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
 - (5) 競技中以外はマスクを必ず着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。
- 5 使用球は本大会に準じて、VICTASの白の試合球を使用します。

<進行について(別紙1・2)>

- 1 別紙1タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 1日目の第1試合の審判は別紙2記載の選手が行う。以降は、敗者審判による。
- 3 男子シングルス4回戦以降ならびに女子シングルス3回戦以降の敗者は進行席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 4 1日目は男女ともシングルス3回戦までの試合、2日目は残り全ての試合を実施予定とする。

<県大会出場決定戦について>

- 1 男子本戦トーナメント3回戦で敗戦した選手を対象に、県大会出場決定戦を実施する。
(県大会出場決定戦における枠数 男子:32名)
 - (1) 3回戦で負けた際、決定戦進行席に申告し、本部へ結果を持参し審判を行う。
 - (2) 審判後に決定戦進行席へ行く。
 - (3) 1試合実施して64名の中から32名の勝者を抽出する。